



JAPAN HERITAGE
日本遺産

播磨の日本遺産展示会

第一回

第二回

令和元年11月5日(火)～11日(月) 10時～19時
【場所】イオンモール姫路リバーシティ2F eoステーション

令和元年11月27日(水)・28日(木) 10時～19時
【場所】イオンモール姫路リバーシティ1F タワーガーデン

ゆるきゃら
参戦!



しろまるひめ



みのさく

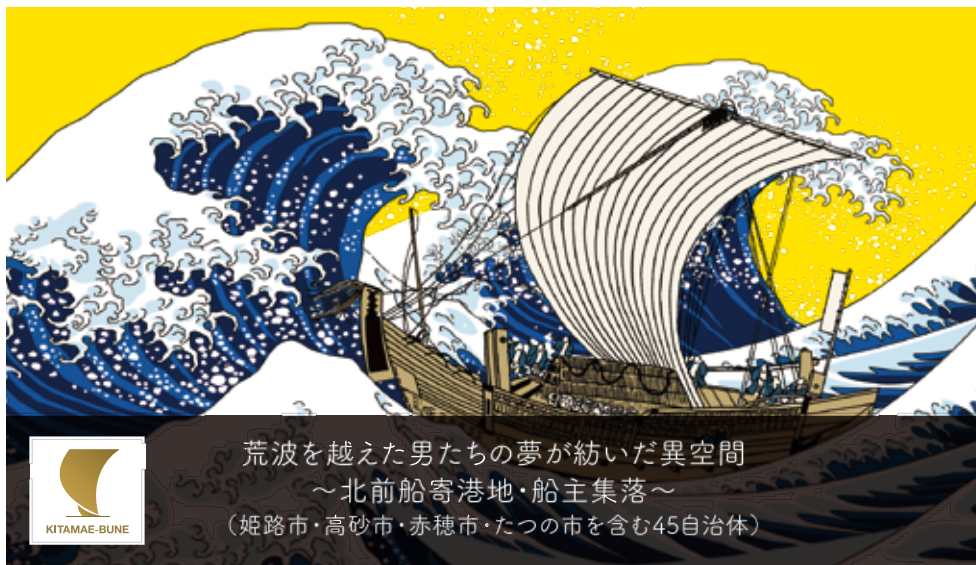


※生野銀山

GINZAN BOYZ(銀山ボーイズ)の製作も
生野銀山のPRのため参上します!



播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道
～資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍～
(養父市・朝来市・神河町・市川町・福崎町・姫路市)



荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
～北前船寄港地・船主集落～
(姫路市・高砂市・赤穂市・たつの市を含む45自治体)



1300年つづく日本の終活の旅
～西国三十三所観音巡礼～
(姫路市・加西市を含む81団体)

姫路市には、3つの日本遺産があります。「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道～資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍～」、「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」、「1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～」。
この度、その魅力を広く知っていただくため、高砂市・赤穂市・たつの市・加西市の協力のもと、日本遺産の構成文化財のパネル展示、PR動画の放映等を行います。また、その他播磨地域の日本遺産「『日本第一』の塩を産したまち播州赤穂」についても、構成文化財等のパネルを展示します。無料となっておりますので、ぜひ足をお運びください。

主催：姫路市

日本遺産とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が「日本遺産」に認定するとともに、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図ります。

姫路市の日本遺産

播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道 ～資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍～

兵庫県中央部の播但地域。そこには、明治9年に日本初の高速産業道路として建設された、飾磨津（現姫路港）から生野鉱山へ至る“銀の馬車道”があります。さらには、生野、神子畑、明延及び中瀬へと連なる鉱山エリア“鉱石の道”が続きます。南北に貫く全長73kmのこの道は、鉱石や生活資材を乗せた馬車や人々が盛んに行き交い、経済、技術、文化発展の礎となり、日本の近代化を牽引しました。今なお地域に残る当時の志と息遣い、そして現在へと繋がれた歴史の轍は、日本遺産に認定され、さらなる未来へと繋がっていきます。



飾磨津物揚場跡



馬車道修築碑



荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。



浜の宮天満宮の神牛



瀬保



中島家住宅



正法寺の唐戸



九所御霊天神社の玉垣



北前船古文書群

1300年つづく日本の終活の旅 ～西国三十三所観音巡礼～

究極の終活とは、ただ死に向かって人生の整理をすることではありません。人生を通して、いかに充実した心の生活を送れるかを考えることが、日本人にとっての究極の終活です。そして、それを達成できるのが西国三十三所観音巡礼なのです。日本人は海外の人から『COOL!』だと言われます。そのように評価されるのは、優しさ・心遣い・勤勉さといった日本人の本来の心であり、実はそれは日本人が親しんできた「観音さん」の教えそのものです。観音を巡り日本人本来の豊かな心で生きるきっかけとなる旅、それが西国三十三所観音巡礼なのです。



えんぎょうじ ろっぴにょらいかんぜおんぼさつ
園教寺と六臂如意輪観世音菩薩